

# かわさきTMO通信

<毎月おじゃまします・かわさきTMOタウンマネージャーです>

## 特別号 No.4

### ●川崎駅周辺 歩行者通行量調査 速報

発行元：川崎商工会議所  
発行責任者：副会頭 深堀和子  
編集責任者：タウンマネージャー 笹原克  
発行日：2012年3月25日  
ホームページ掲載用

◆連絡先

TEL：044-540-3904

FAX：044-540-3900

E mail：sasahara@kawasaki-cci.or.jp

「まちづくり情報交換誌」を目指しています。タウンマネージャーにお気軽に情報をお寄せください。

ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

#### ◇川崎駅周辺 歩行者通行量調査について

かわさきTMOでは、川崎市経済労働局の委託を受けて、平成十五年以降毎年三月に川崎駅周辺で歩行者通行量調査を行っています。

川崎駅周辺では、この十年間でラ・チッタデッラ（2003年）、ミューザ川崎（2004年）、ラゾーナ川崎プラザ（2006年）といった大型施設の開業が相次ぐとともに、2011年には東口駅前広場の再編整備が完成し、街の姿が大きく変わりました。そして、現在もなお、駅東西で新しい大規模オフィスビルの建設や計画が進行中です。本調査は、こうした商業環境の変化を、通行量の面から捉えることを目的に実施されています。

今回のTMO通信特別号(No.4)では、去る3月1日(木)と4日(日)に行われた平成23年度の調査結果を速報で御報告させていただきます。

#### ◇調査概要

・今年度の調査地点は、東口側18地点、西口側2地点、JR線路横断部1地点の計21地点です。(次ページの図表1「調査地点位置図」を参照)

・歩道、地下街、自由通路、歩道橋における歩行者(男女別)と自転車の通行量を方向別に測っています。  
・毎年、平日と休日、各1日ずつ調査を行っています。

・調査時間帯は午前10時～午後8時です。

・基本的に定点観測ですが、必要に応じ調査地点が追加されています。昨年度から今年度にかけては、東口駅前広場再編整備の影響を把握するために、a(石敢当前)とb(駅広中央横断歩道)が、富士見周辺地区との連携度の指標として、c(市役所通り)とf(ハローブリッジ)が、西口駅前に計画されている大規模オフィスビル立地の影響を把握するために、d(南側自由通路)とe(西口大通り)が追加されました。

#### ◇調査結果

・2ページの図表2「調査結果一覧」に過年度及び今年度の各調査地点の1日あたりの合計(10時間の通行量)を示します。

・昨年度、平日で約3千2百人だった駅前広場平面横断歩道の通行量は、今回は約2万4千人にまで増加しました。開通後、約1年を経て、平面横断の認

知度が高まったといえるでしょう。



開通後約1年を経て通行量が7.5倍に増加(平日)した駅広平面横断歩道

・駅前広場再編整備の影響を直接的受ける調査地点以外(駅前広場に面しておらず、昨年度より調査を継続している②③⑤⑥⑪⑬ c l d e)をみると、平日調査では9地点中8地点が昨年度から増加しているのに対し、休日調査では増加しているのが1地点のみですが、これは4日(日)が小雨模様の天候だった点、平年に比べ寒かった点などが影響していると思われる。

・本調査結果の詳細は、川崎市役所のホームページでも公開される予定です。(商店街通行量調査)でサイト内検索)

(専門委員 荒木 淳)

